

事務事業名		35200	育英資金給付事業		予算科目	会計 一般			款 10	項 1	目 2	事業種別	☒ 主な事業
施策体系	基本施策	7	子育て支援の充実		根拠法令	旭市育英資金給付条例、旭市育英資金給付条例施行規則							☐ 国土強靱化地域計画
	施策の展開	16	子育て世帯への経済的支援		戦略事業	88	育英資金給付事業						☐ 新市建設計画
	施策の展開	21	教育支援体制の充実		戦略事業								☐ 定住自立圏構想
													☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない									
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで		特に優れた資質を有しているが経済的理由により修学困難な生徒に対し、教育の機会均等を損なうことがないように助け、将来旭市の発展及び社会に貢献できる青年の育成を図ることを目的とし、育英資金を給付する。									
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化				⑤ 事務事業に対する住民からの意見等					
合併前の奨学金制度は旧旭市・旧干潟町では給付、旧海上町・旧飯岡町では貸付としての制度であったが、合併により新旭市の奨学金制度は、給付事業として統合された。		近年は高校の授業料無料化等の影響もあり、高校生の応募が少なくなっているため、大学生等を含めた募集枠について検討する必要がある。また、国が返還の必要のない「給付型奨学金」を非課税世帯等の大学進学者を対象として創設し、平成30年度進学者より本格実施される。（一部先行実施）				ホームページを見やすく、わかりやすくしてほしい。					

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算)		単位:千円	
1. 委員報酬	36	育英資金給付選考委員会委員報酬6名分	
2. 給付金	8,370	育英資金給付金	
② 特定財源の内訳(1年度の決算)		単位:千円	
1. 国庫支出金			
2. 都道府県支出金			
3. 地方債			
4. その他	16	育英基金利子	
前年度増減理由		育英資金給付金の増…支給対象者数増加のため	

事業費	費目内訳	1. 委員報酬	千円	28年度(決算)	36	29年度(決算)	36	30年度(決算)	36	1年度(決算)	36	2年度(予算)	36
		2. 給付金	千円	5,324	6,372	7,550	8,370	9,288					
			千円										
			千円										
			千円										
	財源	事業費計 (A)		千円	5,360	6,408	7,586	8,406	9,324				
		1. 国庫支出金	千円										
		2. 都道府県支出金	千円										
		3. 地方債	千円										
		4. その他	千円	6	8	42	16	15					
5. 一般財源	千円	5,354	6,400	7,544	8,390	9,309							

従事職員数	常時	1	人	最大		人	×		日	=	延べ		人
-------	----	---	---	----	--	---	---	--	---	---	----	--	---

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

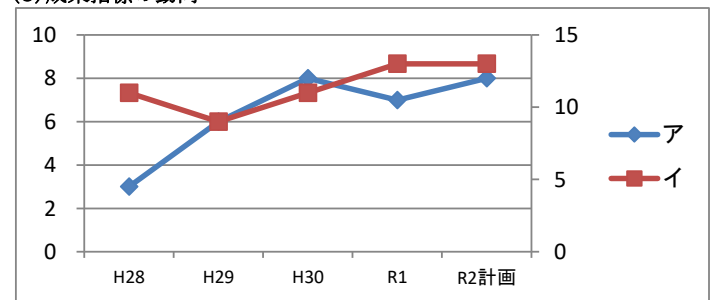
手段	① 主な活動		③ 活動指標名	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動)								
	4月…平成31年度育英生選考委員会 10月…令和2年度育英生募集チラシを市内各中学校及び近隣高校(17校)に配布 2月…ホームページの記載内容を見直し、修正する。令和2年度育英生募集をホームページに掲載 令和2年度育英生募集をフェイスブックに掲載 令和2年度育英生募集要項を市内各中学校へ配布 3月…広報3月1日号に募集内容掲載及び申込の受付 現育英生進路状況報告、現育英生就学状況照会								
			ア 育英資金給付出願者数	人	19	26	22	21	28
			イ 育英生の募集を周知した学校数	校	22	22	22	22	22

目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標名	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (計画)
	対象意図 市内中学3年生及び高校生 制度の活用により、優れた資質を有する生徒に修学の機会が与えられる 対象意図								
			ア 育英資金新規給付決定者数(高校生)	人	3	6	8	7	8
			イ 育英資金新規給付決定者数(大学生等)	人	11	9	11	13	13

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	大きい	成果向上余地	コスト比率
	小さい	かなりある	下位 1/3
	普通	ある程度ある	中位 1/3
	小さい	ほとんどない	上位 1/3
評価結果	①	(1)	
	②		
	③		
	④⑤		
	⑥		
	⑦⑧		
	⑨		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況 ☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難									
	【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)									
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増=成果向上	向上	横ばい	低下	比較	27年度28年度
	【コメント】(低下の場合、その理由)	高校生は、出願者数が7名のみだったため、結果的に給付決定人数も昨年度より低下した。				28年度	29年度	30年度	1年度	2計画
③ 今年度取組事項(2年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容				成果動向	ア	イ	比較	
	R3年1月まで	R3年度育英生の募集枠について検討する。				拡大	縮小	現状維持	廃止・休止	見直し
						令和2年度は前年度の募集枠を維持するが、出願状況等に応じて次年度の募集枠の拡充を検討する。				